

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790400360		
法人名	社会福祉法人 明生会		
事業所名	グループホーム悠		
所在地	福島県いわき市平赤井字一の町62-1		
自己評価作成日	平成23年11月14日	評価結果市町村受理日	平成24年3月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20		
訪問調査日	平成23年12月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の、「その人らしさ」を大切に、個人の人権を尊重し、住み慣れた地域で、持っている力を発揮しながら、安心と尊厳ある暮らしができる様、取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 自然環境に恵まれており、利用者はそれぞれ明るく積極的で、利用者の介護度が安定した状態となっている。
 2. 法人と連携し合同で行われる行事や運営推進会議には、地域の人や家族等多くの参加がある等、地域や家族の協力を得ながら運営している。
 3. 利用者のもてる能力を生かした日常の家事等での役割作りがされており、ゆったりとくつろいだ生活を送っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	安心と尊厳ある生活を営むことを支援し、家庭的な馴染みのある環境、親しみのある人間関係、あるがままを受け入れる温かい雰囲気、慣れ親しんできた生活の継続と残された能力を活かした生活の場の提供に努めている。	法人理念の他に事業所独自の理念や行動計画があり、研修、会議、ミーティング等で随時確認しながら実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の理髪店や隣近辺の住人との交流に努め、事業所でイベントを開催する時には案内している。また近所の保育園園児たちの受け入れをしている。	散歩時に近所の人と会話したり、地域の理髪店を利用している。保育園児の訪問があり、法人の行事は地域の人にも案内し、交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所内で認知症や高齢者ケアに関わる研修会時には広報し、共に学ぶ機会と場を地域に提供できるよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	奇数月最終週の火曜日に、定期的に開催している。ご利用者やご家族、民生委員などへの報告・意見交換(個別面談など)を行い、サービスの向上に繋がる様になっている。	昨年度は都合により4回の開催に終わったが今年度は定期的に開催している。地域や家族代表の参加が多く、積極的に意見交換が行われており、サービス向上に活かされている。会議録は参加者、欠席者にも配布している。	事業所の運営改善に繋がる貴重な会議となることから、定期的に開催することが大事であり、会議の内容は、毎回必ず記録に残す事が望まれる。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	機会あるごとに相談したり、事業所の情報を提供したりしている。	書類の提出時には事業所の実情を報告し、国保連への請求や予防接種の件等で機会あるごとに相談している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関や庭などに自由に出入りできるよう施錠をしていない。マニュアルに沿った対応に努め、利用者の行動や行為を阻止しない取り組みをしている。	事業所内は日中施錠しておらず、徘徊者には職員が付き添い見守っている。管理者が外部の勉強会、研修に参加し、他の職員に伝達しながら身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に事例の回覧をしたり、年1回の研修会をしたり、虐待の有無に注意をはらうようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修会で学ぶ機会をつくったり、話し合いの場を作っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に十分に説明し、理解・納得頂いた上で契約を結んでいる。介護認定更新時などにも再度説明するようにし、疑問がないかを確認している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置、アンケートの実施など、面会時や運営推進会議時に声掛けをし、意見の汲み取りに努めている。	意見箱にはあまり入っていない為、運営推進会議の後で家族にアンケートを実施している。出された意見等は運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個人面談時に積極的に意見を聞くようにしているが、意見・提案が十分に反映されるまでには至っていない。	月初めに職員会議を開催し、意見や提案を聞いており、日常の業務でもその都度聞く機会を設けている。会議録やミーティングノートは回覧しているが、情報の共有が適切になされていない。	日常業務を行う上で、職員間のコミュニケーションを十分図り、必要な情報を共有しながら取り組んで欲しい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人全体の管理者会議で十分に話し合いを設けている。各自の状況や実績にあわせた環境把握に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修会に参加できるよう積極的に働きかけている。内部研修会が充実できるよう要望の高い研修内容を検討している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の定期的なイベントでの交流や一部ローテーション勤務による相互体験を通じてサービスの質を向上できるようにしている。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	一人ひとりの思いをくみ取れるよう十分な説明と面談を心がけている。センター方式を導入している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人と家族の現状を理解・共感しながら、不安内容や要望などを丁寧に確認して、関係づくりにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の問合せ時や契約前に本人・家族等の状況を理解した上で、他の選択肢の情報提供をしたり、要望の確認をして、関係づくりに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者のあるがままを受け入れるようにし、信頼関係や協力関係が築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の関係が継続されるよう支援し、本人の状況やこれからについて変化の度に家族と共有し、支え続けていく関係づくりをしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブや買い物など慣れ親しんだ地域へ出かけたり、古くからの友人が遠慮なく面会に来れる様、配慮し、支援している。	面会時間は自由に、連絡があれば何時でも対応するようにしている。慣れ親しんだ場所などは聞き取りで把握し、希望があれば家族の協力を得ながら外出の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとり相性の合う同士ホールにてくつろげるようになっている。外出支援時を機会に、一緒に出掛けたり仲間づくりに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	機会あれば退所後も連絡を取り、本人や家族の良好な経過が続くよう支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一日一回は利用者と話す時間を設け、意向や希望を伺っている。ご本人に確認が困難な場合は、面会時にご家族と検討している。	日々のケアの中で本人の思いを傾聴する機会を設けている。本人から聞き取りが困難な場合は、家族からの情報で把握するようにしている。サービス内容について家族にアンケートを行い、意向や希望を把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に確認しているほか日常の面会時や電話での報告連絡などの機会を利用し、少しずつ情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の以前の暮らしの様子を家族から得られない場合も本人に伺ったり表情や態度の観察をして現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護主任を中心に介護計画を実践してモニタリングしている。課題を抽出して、職員の意見を反映し実践できるよう努力している。	介護計画は利用者・家族の思いをもとに定期的に見直しをしているが、利用者の現状を把握している担当職員の意見が取り入れられていない。	計画作成担当者は、利用者、家族、関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画の作成が望まれる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を通し、実践したことや現状を職員間で共有している。申し送りの際、ショートカンファレンスをして気づきを増やしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人全体の情報を提供したり、ニーズに対して多方面のサービス利用を検討し、取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	慣れ親しんでいる地域のお店や関わる人を大切にし、保育園やボランティアの受け入れを積極的にして豊かな暮らしを楽しめるようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制を結んでおり、定期的な往診に加え、いつでも適切な医療が受けられるようにしている。ご利用者によって各科掛かり付け医が違うが、継続支援している。	かかりつけ医の受診が継続出来るよう、家族が同行できない時には職員が代行し受診の支援をしている。協力医療機関の往診も定期的にあり、安心して医療が受けられる体制になっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内の看護師が定期的に訪問している。24時間体制で訪問看護師が利用者の状態や相談に対応し看護を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には必ず付き添い、スムーズに治療を受け早い回復が得られる支援をしている。医療機関とは連携が取れている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	心身の状況の変化は、随時、ご家族へ報告し、重度化した場合には、当方で出来ることをあらかじめ伝えると共に、ご本人、ご家族の希望にも沿ったケアとなるよう、事前の話し合いを十分に行うようにしている。	重度化や終末期にむけた指針を作成し、入居時に本人、家族と話し合いを行っている。医療連携体制をとり、心身の状況の変化に対応できるよう取り組んでいるが、十分にはされていない。	状況の変化に応じて本人、家族との話し合いを繰り返し行うと共に、職員は方針を共有し、研修を充実させスキルアップしながらチームでの支援に取り組んでほしい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ショートカンファレンス時に急変時の対応を話し合っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に自主避難訓練を行っている。年一回の消防署員の立ち会いと講義を受けている。駐在所とも協力体制がとれている。	消防署の指導を受けた避難訓練を年2回行っている他、毎月事業所独自での訓練も行っている。夜間想定時の訓練を取り入れたり、自治会や駐在所との協力体制を築いている。今回の震災では法人内施設に避難し対応した。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人色々な事情があるため配慮した関わりで実践している。その人らしさを大切に話を聴くようにしている。	本人の人格を尊重し、言葉かけや対応に配慮したケアの実践に努めている。食後のくつろいだ時間帯には、一人ひとりの話を傾聴するように心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に希望や要望を確認しながら支援している。意志表出をしない利用者には複数の選択肢から選んでもらう。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人に寄り添って支援できるよう、常に見守り、お話を傾聴するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の洋服選びは利用者と相談して決めている。おしゃれの準備は家族に相談したり、一緒に揃えたりして支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	栄養士による献立で、嗜好を聞いたり好評なメニューを反映するなど、フィードバックも行っており、片付けは自主的に協力してくださるご利用者と一緒に行っている。	職員も一緒に食卓を囲み食事が楽しめるよう支援しながら、利用者の好みや摂取状況の確認をしている。買い物や準備、片付け等は利用者一人ひとりの力を活かしながら一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士により計算されている。固さ大きさを一人ずつ工夫し食べやすいよう工夫し支援している。こまめに水分摂取に気をつけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアに関しては自立している方が7名、ご自分で対処できない方が2名おられ、この2名の方に対しては、口腔ケアナプキンなどで対応している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターン、時間、特徴を把握し、支援している。殆どのご利用者が自立している。	排泄チェック表を使用し、日中は介助によりトイレで排泄できるよう自立に向けた支援をしている。オムツやパットの使用においては、本人の状態に応じて常に見直しをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の様子で排泄確認をし、食事の工夫をし下剤調節、便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご利用者に、入浴の希望をうかがい、順番やタイミングを調整しながら支援している。	利用者一人ひとりの希望を確認し入浴を支援している。入浴を拒む利用者には、無理強いすることなく、声掛けや対応を工夫しタイミングを合わせながら個別の入浴支援を心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午後の自室休息や夜間の睡眠に対する支援は、個々に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬については、本人と家族に説明し職員で共有できている。臨時薬は、効果や感想を本人に伺ったり、副作用の観察に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の好きな役割があり、負担にならないよう支援している。将棋やお折り紙、華道などを楽めるようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やドライブを気の合うご利用者同士で行える支援をしている。買い出しなどにも同行していただき、入所前の、普段の生活同様に支援している。	散歩や買い物、散髪等の日常的な外出の他、墓参りや行きたい場所への支援も家族の協力を得ながら行っている。花見、盆踊り、芋煮会等の行事は、法人内の施設にて合同で行い、家族や地域の参加もあり、全員でにぎやかに楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者のお金への執着や理解度を把握し、相談しながら本人が所持管理できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの連絡をつないだり、本人の希望があれば積極的に支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では、利用者の好きな定位置があり、個々が自由にくつろげるように支援している。	トイレや浴室は明るく清潔であり、丸テーブルの食卓に利用者が思い思いにくつろいでいる。田園風景を望むデッキへは車椅子でも自由に出られる。食堂にはクリスマスツリーが飾られ、廊下には大きな仏像の絵が利用者を見守っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関・和室・ウッドデッキ・各居室など自由に場所を選び座って過ごせるように支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている	慣れ親しんだ家具の持ち込みやお気に入り小物を配置できるように支援している。	居室には一人ひとり馴染みの家具や寝具などが持ち込まれ、利用者の意向を聞きながら配置されている。中には位牌が置かれ朝夕拝む利用者もいる。居室はすべて掃き出し窓となっていて、災害時の避難も容易になっている。窓からは紅葉した山が眺められ、季節の推移が感じられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室やトイレ、各自の居室には表札や看板を掲げ、混乱や障害がないように支援している。転倒防止のため清掃や整理整頓に努めている。		